まえがき……広島大学名誉教授 鳴門教育大学名誉教授 野地潤家…… i
はじめに…… iii

第Ⅰ部　読むことの教育の基礎的研究

一　読むことの教育における基礎的実践課題――「読む」とはどういうことか―― 5
二　主題読書法を頂点とする読書技術の体系――アドラー『本を読む本』を拠点に―― 21
三　対話としての読み――「分析読書」の技術―― 33
四　「虚構読み」の仕組みと作用の意義づけ 45
五　読書生活個体史の一例――『戦争と平和』との出会いと恩沢―― 65
六　「読書個体史」記述の意義と機能の考察 80
七　読みに働く二つの信頼 101
八　国語科音読指導の意義と可能性――伊藤経子氏の実践を通して―― 105
九　読み方教授の考察――芦田恵之助「松阪の一夜」を手がかりに―― 123

第Ⅱ部　日本語教育の原論的・歴史的考察――山口喜一郎の日本語教授研究――

一　山口喜一郎の日本語教授法――その体系と展開――……159
二　山口式直接法のカリキュラムと指導案……173
三　山口式直接法の原理・教材・授業の実際……188
四　明治期台湾日本語教育の生成過程――「グアン法」から「新公学校規則」まで――……216
五　明治期台湾における山口喜一郎の日本語教授――『国民読本参照国語科話方教材』を手がかりに――……243
六　開かれた言語活動機構の形成――「読本」と生活に関連させた「話方教材」の組織――……273

おわりに……287

初出一覧……291

索引……296